



2018年10月30日

各 位

会社名 ハリマ化成グループ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 吉弘
 (コード番号 4410 東証第一部)
 問合せ先 代表取締役専務 金城 照夫
 (TEL . 06-6201-2461)

第2四半期連結累計期間業績予想と実績との差異、通期連結業績予想の修正、
 剰余金の配当(第2四半期)および配当予想(期末)の修正(増配)に関するお知らせ

2018年5月1日に公表しました2019年3月期第2四半期連結累計期間(2018年4月1日~2018年9月30日)の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、また、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年3月期の通期(2018年4月1日~2019年3月31日)の連結業績予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は、2018年10月30日開催の取締役会において、2019年3月期の第2四半期、期末配当予想について、下記のとおり修正(増配)することを決議いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

・業績予想値と決算における実績値との差異について

2019年3月期第2四半期連結累計期間業績予想と実績の差異(2018年4月1日~2018年9月30日)
 (単位:百万円,%)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期 純利益
前回発表予想(A)	39,500	2,100	2,100	1,400	53.79円
今回発表実績(B)	39,404	2,354	2,731	2,947	113.26円
増減額(B-A)	96	254	631	1,547	-
増減率(%)	0.2	12.1	30.0	110.5	-
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	35,002	1,791	1,791	1,284	49.50円

・差異が生じた理由

当第2四半期累計期間の業績は、売上高につきましては、ほぼ前回の予想通りとなりました。

営業利益につきましては、製紙用薬品事業の中国子会社の業績好調により、前回の予想を上回りました。また、経常利益につきましては、為替差益を営業外収益に計上したため、前回の予想を上回りました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、連結子会社の繰延税金資産の追加計上に伴い、法人税等調整額を計上したことにより、前回の予想を上回りました。

・業績予想の修正

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

（単位：百万円，％）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	80,000	4,500	4,500	2,950	113.35円
今回修正予想（B）	80,000	4,500	4,500	3,700	142.17円
増減額（B - A）	-	-	-	750	-
増減率（％）	-	-	-	25.4	-
（ご参考） 前期実績（2018年3月期）	73,310	4,010	4,008	2,725	105.03円

・修正の理由

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、連結子会社の繰延税金資産の追加計上に伴い、法人税等調整額を計上することにより、前回の予想を上回る見込みとなりました。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

・剰余金の配当（第2四半期）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2018年5月1日公表)	前期実績 (2018年3月期)
基準日	2018年9月30日	同左	2017年9月30日
1株当たり 配当金	17円00銭 (普通配当17円00銭)	12円00銭 (普通配当12円00銭)	11円00銭 (普通配当9円00銭) (記念配当2円00銭)
配当金の総額	442百万円	-	285百万円
効力発生日	2018年12月4日	-	2017年12月5日
配当原資	利益剰余金	-	利益剰余金

・配当予想（期末）修正（増配）の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		12円00銭 (普通配当12円00銭)	24円00銭 (普通配当24円00銭)
今回修正予想		17円00銭 (普通配当17円00銭)	34円00銭 (普通配当34円00銭)
当期実績	17円00銭 (普通配当17円00銭)		
前期実績(2018年3月期)	11円00銭 (普通配当9円00銭) (記念配当2円00銭)	12円00銭 (普通配当10円00銭) (記念配当2円00銭)	23円00銭 (普通配当19円00銭) (記念配当4円00銭)

・ 修正の理由

当社は、株主の皆様への配当につきましては、安定した配当を継続して実施するとともに、将来の企業価値向上による株主利益の増大を目指した積極的な事業展開に備え、内部留保の充実に務め経営基盤の強化を図りながら、業績動向、配当性向を勘案して実施することを基本方針としております。

つきましては、株主の皆様への日頃のご支援にお応えするため、2019年3月期の第2四半期、期末配当につきましては、当初予想の配当より普通配当を5円増配し、1株当たりそれぞれ17円の配当を実施することと致します。年間合計では、1株当たり34円となります。

以 上